

認定看護師会からのお便り

2024年12月号

昨年度は認定看護師の活用方法と連携の実際を紹介させていただきました。
今年度は、各認定分野の豆知識を紹介したいと思います。

今回は認知症看護認定看護師 小林 理恵子さんです。

1 自己紹介

病棟ラウンドの際には、みなさんに声をかけてもらっており、大変うれしく思っています。ご存じのように、『認知症ケアチーム』と『身体拘束最小化チーム』としてラウンドをしております。ラウンドやカンファレンスでは、「患者さんへのケアをより良くしたい」という思いに触れることができ、感激することが多いです。一人の力は小さいかもしれませんが、チームとなった時に大きな力となると信じ、日々活動しております。

主に病棟での活動が多いですが、外来の患者さん・ご家族のお話を聞く機会も増えてきております。通院患者さんのみならず、認知症に関することでお困りの方がいらっしゃればお声がけください。

認知機能が低下した方は、こちらの対応によって、穏やかに過ごせたりそうでなかったりと鏡のようになると言われています。実感されている方も多いのではないのでしょうか。だからこそそのやりがいもありますので、認知症看護に興味のある方はお声がけください。(耳打ちも可)。その他にも、「こんなこと聞いていいのかな」と言うことも遠慮せずに(お金と恋愛以外でお願いします)お待ちしております。

2 豆知識

認知症の新しい薬が出たことは、知っている方も多いと思います。2023年12月に「レカネマブ」が認可され、当院でも何人かの患者さんが治療に通っていただいています。さらに今年12月にも「ケサンラ」が認可され、当院でも治療開始になる予定です。

【重要】身体拘束最小化チームが結成されております。

身体拘束数を減らす

ことを目標としています。これは病院全体で、取り組むべき内容です。病院職員の皆さん、身体拘束最小化に注目してください。

このような状況
無くさなければ

